

各 位

株式会社八十二銀行

FDUA アワード 2025「データ活用賞」受賞について

八十二銀行（頭取 松下 正樹）は、一般社団法人金融データ活用推進協会（以下「FDUA」）が主催する「FDUA アワード 2025」において、金融データ活用で優れた取組みを認められた金融機関として「データ活用賞」を受賞しました。

今後もデータ・AI 利活用を積極的に推進し、地域社会の持続的な成長に貢献していきます。



1. FDU Aワードとは

金融機関におけるデータ活用を高度化し、業界全体の水準向上を図ることを目的に今年度より創設した、金融データ活用の模範となる取組みを表彰する制度です。

2. 受賞理由

以下の理由等により、「地域金融の枠を超えて業界全体の水準向上に寄与している」との高い評価をいただきました。

- （１）2019 年に銀行データを一元管理するデータウェアハウス（DWH）を稼働させ、DWH を活用した AI モデルの内製化を早期に実現している。2023 年には、全行員向けに安心安全な生成 AI の利用環境を整備するなど、先進的な取組みである。
- （２）AI 審査による「はちにのビジネスネットローン※1」は、顧客利便性を高めるとともに地域企業の成長支援に繋がっている。また、ガバナンス強化や「八十二グループ AI ポリシー」の対外公表により、利用者の安心感を高めている。
- （３）共通の仕様である DWH を利用する 7 行（じゅうだん会※2）と早期からノウハウを共有し横展開する仕組みは、FDUA が掲げる「ノウハウの横展開・人材育成」に合致し、地域金融全体に波及効果を生んでいる。

※ 1. 商品概要 : https://www.82bank.co.jp/hojin/shikin/loan_portal.html

※ 2. 八十二銀行が開発する銀行の基幹系システムを共同利用する地方銀行 7 行の枠組み
（山形銀行、筑波銀行、武蔵野銀行、八十二銀行、阿波銀行、宮崎銀行、琉球銀行）

（ご参考）

FDUA アワード詳細 : <https://www.fdua.org/news/20250520-2>

以 上